

付録／困ったときには

メニュー一覧.....	174
マルチアクセスについて..... [マルチアクセス]	177
FOMA端末から利用できるサービス.....	177
オプション・関連機器のご紹介.....	178
■困ったときには	
こんな表示が出たら.....	178
故障かな？と思ったら、まずチェック.....	180
保証とアフターサービス.....	183
ソフトウェアを更新する..... [ソフトウェア更新]	185
主な仕様.....	186
携帯電話機の比吸収率などについて.....	188
FCC notice.....	188
FCC RF exposure information.....	188
Body-worn operation.....	189
Declaration of Conformity.....	189
European Union Directives Conformance	
Statement.....	190
輸出管理規制.....	190
知的財産権について.....	190
Windows Mobileの製品情報について.....	194

メニュー一覧

スタートメニューをタップすると表示されます。

アプリケーション	概要	参照先
Today	ホーム画面（Today画面）を表示します。	P.21
Office Mobile	Office文書の作成や表示ができます。	P.114
Excel Mobile	Excel Mobileを利用します。	P.115
OneNote Mobile	OneNote Mobileを利用します。	P.119
PowerPoint Mobile	PowerPoint Mobileを利用します。	P.118
Word Mobile	Word Mobileを利用します。	P.114
Internet Explorer	Webページを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。	P.85
メール	メール、SMSの送受信ができます。	P.73
電話	電話をかけることができます。	P.46
予定表	会議などの予定を登録します。	P.60
連絡先	友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。	P.56
プログラム		
ゲーム	Bubble Breaker、ソリティアの2種類のゲームがあります。	P.122
Bubble Breaker	シャボン玉を消して、点数を競うゲームをはじめます。	P.122
ソリティア	トランプを並べていくゲームをはじめます。	P.122
ActiveSync	FOMA端末とパソコンの間で情報の同期ができます。	P.111
Adobe Reader LE	PDFファイルを表示することができます。	P.120
i モード.net モバイルモード	FOMA端末から i モードメールの送受信が行えます。	P.78
Kinoma Play	FOMA端末内やWeb上にある音楽やビデオ、写真などを簡単に再生したり、ポッドキャストやRSSリーダーに登録したサイトの最新情報を取得できます。	P.96

アプリケーション	概要	参照先
Messenger	Windows Live Messengerを起動します。	P.80
mopera U端末設定	mopera Uのお申し込みや設定内容の変更をします。	P.73、P.148
NetFrontWidgetsPlayer V2	ウィジェットプレイヤーを起動します。	P.28
NFBrowser	NetFront Browserを起動してWebページを閲覧できます。	P.89
PhotoBase	静止画のトリミングやコントラスト調整をしたり、フレームを貼り付けたりすることができます。	P.101
SecurityScan	FOMA端末に取り込んだデータやプログラムをスキャンします。	P.130
UIMマネージャー	FOMAカードに保存されている連絡先を管理します。	P.57
VideoEditor	静止画を組み合わせてフォトムービーを作成したり、動画に音楽や音声、字幕などを追加したりできます。	P.101
Windows Live	マイクロソフト社が提供するオンラインサービスを利用します。	P.79
Windows Media	音楽や動画を再生できます。	P.97
いつもNAVI(無料地図)	今いる場所を確認し、周辺情報を検索することができます。	P.124
エクスプローラー	ファイルの整理や管理をします。	P.104
お使いになる前に	FOMA端末の基本操作を確認できます。	P.128
カメラ	静止画や動画を撮影します。	P.92
タスク マネージャー	実行中のアプリケーションを切り替えたり終了します。	P.35
メモ	文字入力パッドでタップまたは手書きしたメモを作成します。	P.62
画像とビデオ	FOMA端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画の表示、整理、並べ替えができます。	P.95

アプリケーション	概要	参照先
検索	FOMA端末のMy DocumentsおよびmicroSDカード内のファイル名や、連絡先やメモなどのデータに含まれる文字列を検索します。	P.107
仕事	現在の仕事の進捗や優先度などを管理できます。	P.59
電子辞典	国語辞典、英和辞典、和英辞典を利用できます。	P.122
電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。	P.122
電話帳コピーツール	別のFOMA端末またはWindows Mobile端末との間で、連絡先データの全件移行を行います。	P.58

設定

個人用

Today	ホーム画面をWindows MobileのToday画面に変更できます。また、スタートメニューとToday画面の背景イメージや、タイトルバーとメニューバーの配色を、テーマごとに変更できます。	P.28、 P.127
オーナー情報	お客様ご自身の情報やメモを入力できます。	P.44
ネットワークサービス	留守番電話、キャッチホン、転送でんわ、迷惑電話ストップ、発信者番号通知、番号通知お願いサービスの設定ができます。	P.43、 P.160
ボタン	市販のテンキーやキーボードを接続した際、キーの「移動開始までの待ち時間」や「移動速度」を変更するときに使用します。	P.136
マナーモード	マナーモードの設定ができます。	P.53
メニュー	スタートメニューに表示するプログラムの設定ができます。	P.29
ロック	デバイスロックのパスワードの設定ができます。	P.68

アプリケーション	概要	参照先
入力	文字入力や手書き入力に関する設定をします。	P.64、 P.158
公共モード	電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。	P.52
電話	着信音などの電話の設定をカスタマイズしたり、ネットワークやセキュリティなどに関する設定ができます。	P.44、 P.53、 P.67、 P.171
音と通知	メール受信やアラームなどのイベントごとに通知音やお知らせLEDの点滅などを設定します。	P.125
システム		
ATOK設定	変換辞書の設定や単語登録ができます。	P.157
Internal GPS	GPSデータをインターネットから取得します。	P.124
Windows Update	Windows Mobileを最新の状態に更新します。	P.135
エラー報告	エラー報告機能の有効/無効を設定します。この機能が有効のときプログラムエラーが発生すると、プログラムとFOMA端末の状態を示す技術データがテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、マイクロソフト社のテクニカルサポートセンターにログが送信されます。	P.137
カスタマーフィードバック	Windows Mobileソフトウェアの使用状況に関する匿名情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。	P.137
スリープモードLED設定	お知らせLEDでスリープモード中であることをお知らせするかどうかを設定します。	P.42
ソフトウェア更新	専用のダウンロードサイトからFOMA端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。	P.185

アプリケーション	概要	参照先
タスクマネージャー	実行中のアプリケーションを切り替えたり終了します。	P.35
バックライト	バックライトの明るさやバックライトを消すまでの時間などを設定します。	P.126
バージョン情報	OSやソフトウェアのバージョンやMACアドレスなどの機器情報を確認します。	P.137
パワー マネージメント	バッテリー残量を表示したり、スリープモードになるまでの時間を設定したりできます。	P.126 P.144
フローティングパッド設定	フローティングパッド（右きき用／左きき用）を使用するかどうかを設定します。	P.34
ブラウザ設定	Internet Explorer Mobileの高速化の方法を設定します。	P.88
プログラムの削除	インストールしたプログラムを削除します。	P.134
マスタークリア	お買い上げ以降に登録したすべてのデータを消去し、FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻します。	P.138
メモリ	FOMA端末および外部メディアのメモリ使用状況を確認できます。	P.136
モーションセンサー設定	FOMA端末を左右に傾けたり、振ったり、叩いたりして、アプリケーションを起動したり、画面や項目を切り替えたりする操作の有効／無効を設定します。	P.33
モーションセンサー調整	モーションセンサーを初期化して、モーションコントロールの動作を調整します。	P.33
動画質設定	動画再生時に、高画質化エンジンを使用するかどうかを設定します。	P.100
地域	FOMA端末で表示する数値、通貨、日時の表示方法を、選択した地域ごとに設定できます。	P.43、 P.127

アプリケーション	概要	参照先
外付け GPS	市販の外部GPS機器からGPSデータを取得するための設定を行います。	P.124
時計とアラーム	日付と時刻の変更や特定の曜日と時刻にアラームを設定できます。	P.42、 P.125
暗号化	microSDカードにファイルを保存するときに、自動的に暗号化されるように設定します。	P.106
画面	画面の補正や文字サイズを設定します。	P.127
省電力設定	電池を節約する設定をします。	P.126、 P.144
管理プログラム	社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。	－
証明書	インストールされている証明書についての情報を表示します。	P.69
接続		
Bluetooth	Bluetooth機能をオンにして、ほかのBluetooth対応機器と接続します。	P.112、 P.146
GPRS設定	GPRS接続におけるセキュリティの認証方式を設定します。	P.141
USB to PC	パソコンとのUSB接続を、Active Syncモードまたはマストレージモードに切り替えます。	P.106
Wi-Fi	ワイヤレスLAN接続の設定をします。	P.143
ドメインへの登録	FOMA端末を会社のドメインに登録して、社内システム管理者がFOMA端末を管理できるように設定します。	P.148
ビーム	FOMA端末がBluetooth通信で送られてきたデータを受信できるように設定します。	P.148
ワイヤレスマネージャー	通話および通信機能のオン／オフを切り替えます。	P.69
接続	FOMA端末がインターネットや社内ネットワークに接続するための設定をします。	P.141
ヘルプ	ヘルプを利用します。	P.128

マルチアクセスについて

[マルチアクセス]

マルチアクセスとは、電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって通話中にメールを受信したり、インターネット接続中に電話をかけたりできます。

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで処理できる動作は以下のとおりです。

新たに発生した通信	電話の発着信	ブラウザを利用したインターネット接続	電子メールの送受信	SMSの送受信
現在の状態				
通話中	○*	○	○	○
パケット通信中	○	○	○	○
SMS送受信中	○	○	○	○

○：ご利用できます。

×：ご利用できません。

※：キャッチホンをご契約いただき、サービス中に設定している場合に発着信が可能です。

FOMA端末から利用できるサービス

番号案内サービス(有料:案内料+通話料) ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	(局番なし) 104
電報の発信(有料:電報料)	(局番なし) 115
時報サービス(有料)	(局番なし) 117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし) 110
消防・救急への緊急通報	(局番なし) 119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし) 118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし) 171
コレクトコール(有料:案内料+通話料)	(局番なし) 106

おしらせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込み94.5円)がかかります(2009年4月現在)。
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込み105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などが不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください(2009年4月現在)。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話/携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください(一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます)。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらずに、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ・電池パック T02
- ・リアカバー T02
- ・FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
- ・イヤホン変換アダプタ（マイク/スイッチ付） T01
- ・PC接続用USBケーブル T01
- ・周辺機器接続用USBケーブル T01
- ・FOMA ACアダプタ 01/02^{*1}
- ・FOMA DCアダプタ 01/02^{*1}
- ・FOMA 海外兼用ACアダプタ 01^{*1}
- ・FOMA 乾電池アダプタ 01^{*1}
- ・車載ハンズフリーキット 01^{*2}
- ・ワイヤレスイヤホンセット P01
- ・ワイヤレスイヤホンセット 02
- ・骨伝導レシーバマイク 02
- ・Bluetoothヘッドセット F01^{*3}
- ・Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01

^{*1} 本FOMA端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が必要です。

海外で使用の場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

^{*2} 本FOMA端末とBluetooth通信で接続できます。

^{*3} Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説明/対処方法	参照先
保存されていないデータは全て失われます。端末の電源をOFFしますか？	ⓐを長く押したときに表示されます。電源をオフするには「電源OFF」をタップします。	P.42
暗証番号 (PIN) を入力してください。あと3回試行できます。緊急電話のみ暗証番号 (PIN) なしでかけられます。	暗証番号 (PINコード) を有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.67
暗証番号 (PIN) が正しくありません。もう一度暗証番号 (PIN) を入力してください。あと2回試行できます。緊急電話のみ暗証番号 (PIN) なしでかけられます。	正しくない暗証番号 (PINコード) を入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.67
緊急電話は可能です。	デバイスロック中に表示されます。パスワードを入力し、「ロックの解除」をタップしてください。	P.68
パスワードが間違っています。	パスワードに誤りがあるときに表示されます。正しいパスワードを入力してください。	P.68
SIMカードが未挿入です。通信事業者によっては緊急電話が可能です。	FOMAカードが正しく挿入されていない状態で電源を入れたときに表示されます。FOMAカードが正しく挿入されているか確認してください。 なお、FOMAカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報 (110番、119番、118番) を含め音声発信できません。	P.36
SIMカードが無効です。通信事業者によっては緊急電話が可能です。	指定以外のFOMAカードが挿入されたときに表示されます。ドコモが指定したFOMAカードを挿入してください。	P.36

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
電話の機能は現在停止中です。 電話の機能を有効にしますか？	ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの状態で、電話をかけようとしたとき、またはActiveSyncでExchange Serverと同期しようとしたとき表示されます。「はい」をタップすると、ワイヤレスマネージャーの「電話」がオンになります。	P.69
SMS メッセージを送信できません。	SMSを送信しようとしたとき、本文が長すぎたり、宛先の携帯電話番号が正しくない場合に表示されます。	P.77
このメッセージを下書きフォルダーに保存しますか？ 取り消すには、[×]をタップします。	電子メールを作成したり編集しているとき、下書きフォルダーに保存する前に閉じようとしたときに表示されます。保存するときは「はい」をタップします。作成や編集を続けるには「×」をタップします。	P.75
接続中… 接続先：mopera U (Biz・ホーダイ) 接続先 the Cellular Network..	パケット通信のために、ネットワークに接続しようとしているときに表示されます。接続が完了するとパケット通信を利用することができます。	P.140
原因不明のエラーのため接続できません。	USB接続やワイヤレスLAN、Bluetooth通信中に、パケット通信を利用しようとした場合などに表示されます。「閉じる」をタップして、続けて表示されるエラーメッセージ(原因)を確認してください。問題が解決しない場合は、リセットしてからやり直してください。	P.137

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
接続制限 パケット通信中のため、ご利用できません。 パケット接続を終了してから行ってください。	パケット通信接続中に、ワイヤレスLAN機能またはBluetooth機能を有効にしようとする则表示されます。また、パケット通信接続中に、Active SyncモードでパソコンとUSB接続すると表示されます。パケット通信回線を切断してください。	P.76、 P.89
接続制限 外部機器接続中のため、ご利用できません。 外部機器接続を終了してから行ってください。	Active SyncモードでパソコンとUSB接続中に、パケット通信で接続しようとする则表示されます。USB接続の設定をマストレージモードにするか、付属のPC接続用USBケーブル TO1をFOMA端末から外してください。ワイヤレスLAN機能またはBluetooth機能が有効のとき、パケット通信で接続しようとする则表示されます。サスペンド(スリープモード)機能によりワイヤレスLAN接続が切断されると、サスペンド機能からの復帰後(再接続中)に表示される場合があります。	P.106、 P.143、 P.146
FOMA通信がOFFのため更新できません	ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの状態で、スキャン機能のパターンデータを更新しようとしたとき表示されます。ワイヤレスマネージャーの「電話」をオンにしてから操作してください。	P.69
他のアプリケーションが接続のため更新できません 接続を解除し、再度パターンデータ更新を実行してください	パケット通信接続中やパソコンとの同期中に、スキャン機能のパターンデータを更新しようとしたとき表示されます。パケット通信回線を切断してください。同期中の場合は、付属のPC接続用USBケーブル TO1をFOMA端末から外すなどして、同期の接続を無効にしてください。	P.76、 P.89、 P.110

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
選択した連絡先を完全に削除しますか？	連絡先を削除しようとしたときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	P.57
連絡先は完全に削除されます。続行しますか？	連絡先に登録されている内容の1つを削除しようとしたときに表示されます。連絡先を削除するときは「はい」をタップします。	P.57
名前などの連絡先情報を入力し、「検索」をタップしてください。	Exchange Serverを利用しているとき、共有連絡先の中を検索するときに表示されます。	P.57
この定期的な予定をすべて削除しますか？それとも、今回の予定のみを削除しますか？	定期的なパターンで登録した予定を削除しようとしたときに表示されます。「すべて」をタップすると、このパターンで登録されている予定すべてが削除されます。「今回のみ」をタップすると、今削除しようとしている予定のみが削除されます。	P.62
この定期的な予定をすべて編集しますか？それとも、今回の予定のみを編集しますか？	定期的なパターンで登録した予定を編集しようとしたときに表示されます。「すべて」をタップすると、このパターンで登録されている予定すべてが編集されます。「今回のみ」をタップすると、今編集しようとしている予定のみが編集されます。	P.61
会議の変更を保存し、出席者に更新メッセージを送りますか？	出席者が設定されている予定の内容を変更しようとしたときに表示されます。出席者に予定の変更をメールで知らせるときは「はい」をタップします。	P.62
会議を削除し、出席者に取り消しメッセージを送りますか？	出席者が設定されている予定を削除しようとしたときに表示されます。出席者に予定の削除をメールで知らせるには「はい」をタップします。	P.62

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXがBluetoothによるデバイスへの接続を要求しています。デバイスの一覧にXXXを追加しますか？	ほかのBluetooth対応端末からFOMA端末に対してBluetooth通信による接続の要求があった場合に表示されます。接続する場合は「はい」をタップします。	P.147
サーバーにアクセスできません。サーバーの名前を確認してください。	Exchange Serverの名前が正しくないときに表示されます。Exchange Serverの名前については、管理者に問い合わせてください。	P.110、P.112
ユーザー情報：正しいExchange Serverの資格情報を指定してください。	Exchange Serverにアクセスするためのユーザー名やパスワードが正しくないときに表示されます。	P.110、P.112
このソースを削除すると、ソースとの同期関係とそのソースによって使用されているアイテムのみが削除されます。そのほかのアイテムはデバイスに残ります。続行しますか？	FOMA端末に登録した同期するパソコンやExchange Serverの設定を削除するときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	—
ActiveSyncをサポートするPCとの既存のBluetoothパートナーシップが見つかりません。パートナーシップをセットアップしますか？	Bluetooth通信によってパソコンと同期しようとしたとき、パソコンとのパートナーシップが設定されていないときに表示されます。パートナーシップの設定を行うときは、「はい」をタップします。	P.112、P.147

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (P.185)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

症状	チェックする箇所	参照先
FOMA端末の電源が入らない (FOMA端末が使えない)	<ul style="list-style-type: none"> 電池パックが正しく取り付けられていますか？ 電池切れになっていませんか？ 	P.37、P.41
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> 電池パックが正しく取り付けられていますか？ アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか？ ACアダプタ (別売) をご使用の場合、組み合わせて使用する付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が、FOMA端末およびACアダプタと正しく接続されていますか？ 付属のPC接続用USBケーブル T01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか？ 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してお知らせLEDが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。 	P.37、P.38
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> 操作中や充電中、また、通話などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。 	P.8
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか？ 圏外時は通信可能な状態にできるような電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間がだいに短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。 	P.14、P.39

症状	チェックする箇所	参照先
電源断・再起動が起きる	<ul style="list-style-type: none"> 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。 	P.13
電源を入れたのに操作できない	<ul style="list-style-type: none"> PINコードを入力する画面が表示されていませんか？ PINコードを入力してください。 	P.67
タッチパネルをタップしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> パスワード入力画面が表示されていませんか？ デバイスロックが設定されているので、パスワードを入力し、「ロックの解除」をタップしてください。 	P.68
タッチパネルをタップしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 	—
FOMAカードが認識しない	<ul style="list-style-type: none"> FOMAカードを正しい向きで挿入していますか？ 	P.36
電話がつかまらない	<ul style="list-style-type: none"> FOMAカードが正しくFOMA端末に取り付けられていますか？ 市外局番から入力していますか？ ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフになっていませんか？ 	P.36、P.69
着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 着信音量を「バイブ」または「オフ」にしていますか？ 通知音設定の電話を「バイブ」にしていますか？ 公共モード、マナーモードを起動していませんか？ 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていますか？ 	P.51、P.52、P.53、P.161

症状	チェックする箇所	参照先
通話ができない	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを取り付け直してください。 電波の性質により、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態 (Y)でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。 	P.36、P.37、P.41
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	<ul style="list-style-type: none"> 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。 	P.41
画面をタップしても動かない	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。 	P.41
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none"> バックライトの明るさの設定を確認してください。 	P.126
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none"> 受話音量を変更していませんか？ 	P.51
圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	<ul style="list-style-type: none"> 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？ 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 日本国内から海外へ移動したあとにネットワークの種類(「モード」)を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。 	P.171

症状	チェックする箇所	参照先
海外で利用中に突然、発信や着信ができなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算していただくことで、サービスを再開します。 ネットワークの種類(「モード」)を確認してください。「自動」に設定されていると、特定のネットワークを受信し利用できない場合があります。滞在先で接続するネットワーク(「3G」または「GSM/GPRS」)に変更してください。 	取扱説明書裏面、P.171
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号が表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。 	P.169
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none"> USBハブを使用していませんか？USBハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。 	P.110
microSDカードに保存したデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> パソコンとマストレージモードでUSB接続していませんか？ 	P.106
Bluetooth対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth対応機器(市販品)、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。 	P.147

症状	チェックする箇所	参照先
FOMA端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	・FOMA端末のデータ記憶用メモリおよびプログラム実行用メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了したり不要なファイルを削除したりして、メモリの空き容量を確保してください。	P.136
データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない	・FOMA端末をリセットしてください。	P.137

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いいたします。
※本FOMA端末は、電話帳コピーツールを使って連絡先データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら、まずチェック」をご覧ください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご希望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なこともありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
 - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
 - ・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
 - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定が、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

- 修理返却品は、故障箇所に関係なく、ワイヤレスLAN用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて


- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

[ソフトウェア更新]

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトからFOMA端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。インターネットを利用したソフトウェア更新には、ActiveSyncなどを使ってパソコン経由でダウンロードしたファイルをFOMA端末に取り込んで行う方法とFOMA端末だけで行う方法があります。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗し、操作できなくなることがあります。
- ソフトウェア更新は、電池残量が十分にある状態（ホーム画面のタイトルバーにが表示されている状態）で実行してください。
- 以下の場合はソフトウェア更新を実行できません。
 - 電池残量が十分でないとき
 - メモリ空き容量が不十分
 - 圏外するとき（FOMA端末だけで更新する場合）
 - ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの場合（FOMA端末だけで更新する場合）
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

ソフトウェア更新の前に必要な確認と準備

ソフトウェア更新の前に以下の準備を行います。

- FOMA端末のソフトウェアバージョンを確認する（P.137）
- FOMA端末のデータ記憶用メモリの空き領域を確認する（P.136）
- FOMA端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.35）
- FOMA端末を充電する（P.39）

おしらせ

- 万が一のトラブルに備え、FOMA端末内のお客様情報やデータのバックアップをおすすめします。

パソコン経由で更新する

- 1 ダウンロードサイトから、ソフトウェア更新ファイルをパソコンにダウンロードする**
 - ドコモのホームページから、本FOMA端末専用のダウンロードサイトにアクセスできます。
- 2 ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを使ってFOMA端末の「My Documents」へソフトウェア更新ファイルをコピーする**
 - ActiveSyncおよびWindows Mobileデバイスセンターについて詳しくは、P.108を参照してください。
- 3 FOMA端末で「My Documents」を開いて、ソフトウェア更新ファイルを表示する**
- 4 ソフトウェア更新ファイルをタップして実行する**

メモリの空き容量や電池残量などのチェックを行ったあと、インストールを確認する画面が表示されます。
- 5 「今すぐインストール」をタップする**

起動中の機能が終了してFOMA端末が再起動し、ソフトウェア更新ファイルのインストールが開始されます。
ソフトウェア更新が完了すると、FOMA端末が再起動します。
- 6 「完了」をタップする**

FOMA端末だけで更新する

- 接続形態や接続環境によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。また、ダウンロードにかかる通信料は、ご契約内容によって変わります。通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ソフトウェア更新は、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態(📶)で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「ソフトウェア更新」

ダウンロードサイトへの接続を確認する画面が表示されます。

2 「OK」をタップする

ダウンロードサイトに接続します。

3 必要な更新ファイルを選択してダウンロードする

- ダウンロードのしかたについては、「Webページからデータをダウンロードする」(P.87)を参照してください。

4 「パソコン経由で更新する」の操作3以降を行う

主な仕様

■ 本体

品名	T-01A	
サイズ	高さ約130mm×幅約70mm×厚さ約9.9mm	
質量	約129g(電池バック装着時)	
メモリ	ROM 512MB RAM 256MB	
連続待受時間	FOMA/3G	静止時(自動):約250時間 移動時(自動):約130時間 移動時(3G固定):約160時間
	GSM	静止時(自動):約180時間
連続通話時間	FOMA/3G	約210分
	GSM	約200分
FOMA ACアダプタ(別売)での充電時間	約160分	
FOMA DCアダプタ(別売)での充電時間	約160分	
液晶部	種類	TFT
	サイズ	約4.1inch
	発色数	65,536色
	ドット数	480×800ドット(ワイドVGA)
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/4.0 inch
カメラ有効画素数	約320万画素	
記録画素数(最大時)	約320万画素(2048×1536)	
デジタルズーム	最大約6.4倍(23段階)	
音楽再生	Windows Media Audio(WMA)ファイル	連続再生時間約600分(バックグラウンド再生対応)
	MP3ファイル	連続再生時間約600分(バックグラウンド再生対応)
ワイヤレスLAN	IEEE802.11b/g準拠	

Bluetooth機能	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDRに準拠 ^{※1}
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 2
	見通し通信距離 ^{※2}	約10m以内
	対応プロファイル ^{※3}	Headset Profile (HSP) Hands-Free Profile (HFP) Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP) Object Push Profile (OPP) Serial Port Profile (SPP) Human Interface Device Profile (HID)

- ※1 本FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※2 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
- ※3 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1000mAh

■ファイル形式

FOMA端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	3GPP, MP4	3gp, mp4

■静止画の撮影枚数（目安）

解像度	本体メモリに保存できる撮影枚数（お買い上げ時）	microSDカード（64MB）に保存できる撮影枚数
320×240（QVGA）	約9000枚	約1800枚
640×480（VGA）	約4500枚	約900枚
1280×960（4VGA）	約1800枚	約400枚
1600×1200（UXGA）	約1300枚	約300枚
2048×1536（QXGA）	約800枚	約200枚

- ※削除可能プリインストールデータ削除時
 ※撮影条件は、ズーム：なし、画質：ノーマル、解像度：320×240（QVGA）

■動画の撮影時間（目安）

解像度	本体メモリに保存できる撮影時間（お買い上げ時）	microSDカード（64MB）に保存できる撮影時間
320×240（QVGA）	約100分	約23分
640×480（VGA）	約30分	約7分

- ※削除可能プリインストールデータ削除時
 ※撮影条件は、ズーム：なし、音声録音：あり、フォーマット：3gp、画質：ノーマル、解像度：320×240（QVGA）
 ※撮影制限時間は、1件につき最大約10分となります。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種 [T-01A] の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、これが 2W/kg^* の許容値を超えないこととしています。

この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。

この携帯電話機T-01AのSARの値は、 0.523W/kg です。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index.html>

ドコモのホームページ

<http://www.nttdocomo.co.jp/product/>

東芝のホームページ

http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/index_j3.htm

※技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。

FCC notice

- This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

Your Toshiba phone is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg . The tests are performed in positions and locations (e.g.,

at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.614 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.742 W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/fccid> after searching on FCC ID SP2-TM5-J01.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at <http://www.phonefacts.net>.

Declaration of Conformity

The product "T-01A" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

The Declaration of Conformity is found on http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/index_j3.htm (Japanese only)

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.

Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radiofrequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.491 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE06820

Hereby, Toshiba Information Systems UK (Ltd), declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び列国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したのものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「iモード.net」「docomo PRO series」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「OFFICEED」「IMCS」「mopera U」「セキュリティキャン」「バケ・ホーダイ」「Biz・ホーダイ」および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。
- Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth® SIG, Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- AdobeおよびAdobe Reader、FlashはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Mobile®、ActiveSync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®、Windows Live™、およびInternet Explorer®のロゴは、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

- 『ジーニアス英和辞典MX』『ジーニアス和英辞典MX』© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2008
『明鏡国語辞典MX』© KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2008
[編集・発行]大修館書店
※本辞典は、大修館書店が『ジーニアス英和辞典 第4版』『ジーニアス和英辞典 第2版』『明鏡国語辞典』を元に、モバイル端末用に再編集したものです。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront Widgetsを搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- ArcSoft and the ArcSoft logo are registered trademarks of ArcSoft, Inc. in the United States, P. R. China, EU, and Japan.
- Kinoma PlayおよびKinoma, Inc.の名称、ロゴは米国およびその他の国におけるKinoma, Inc.の登録商標または商標です。
- カザアナの名称、ロゴは日本国およびその他の国における株式会社カザアナの登録商標または商標です。

dragon

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



その他

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows XPIは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

ArcSoftエンドユーザライセンス契約

本エンドユーザライセンス契約は、ソフトウェアのエンドユーザであるお客様とArcSoft, Incとの間に締結される法的なソフトウェアライセンス契約です。本ArcSoftソフトウェア（以下「本ソフトウェア」と称します）を使用する前に、本契約をよくお読みください。携帯機器に本ソフトウェアをインストールして使用すると、本契約を読んだ上で契約条件に同意したものとみなされます。

1. ライセンスの許諾 本ライセンスにより、お客様は、本パッケージまたは製品に含まれる本ソフトウェアを1台の携帯機器で使用することができます。ソフトウェアの被許諾者はそれぞれ、プログラムを一度に1台の携帯機器でのみ「使用」することができます。本ソフトウェアは、RAMに読み込まれたとき、または携帯機器のメモリーカードもしくはその他の固定記憶装置にインストールされたときに「使用」されたものとみなされます。お客様は、変更、変換、リバースアセンブル、逆コンパイル、逆アセンブルを行ってはならず、(i) 本ソフトウェアのソフトウェア保護メカニズム（本ソフトウェアの機能を制限もしくは制御するために使用されるメカニズムを含みますがこれに限定されません）の無効化、迂回、除去、解除もしくは回避、または、(ii) 本ソフトウェアのソースコードもしくは基本となるアイデア、アルゴリズム、構造もしくは構成の抽出を試みてはならないものとします（適用法により当該行動を禁止できない場合は除きます）。

2. 著作権 本パッケージまたはデバイスに含まれるソフトウェアは、米国著作権法、国際協定の各規定、および適用される他のあらゆる国内法によって保護されています。本ソフトウェアについては、他のあらゆる著作物（書籍、音楽録音など）と同様に扱う必要があります。本ライセンスは本ソフトウェアの貸与または賃貸を許可するものではなく、また、本ソフトウェアに添付資料がある場合にはその資料のコピーは禁止されています。

3. 所有権 本ソフトウェアおよび添付ドキュメンテーションならびに上記のコピーに関する権利、所有権、およびあらゆる知的財産権は、ArcSoftまたはその第三許諾者によりのみ帰属するものとします。お客様は、著作権法その他あらゆる準拠法に従うことに同意するものとします。お客様は、本ソフトウェアに、ArcSoftまたはその第三許諾者の貴重な機密情報およびトレードシークレットが含まれていることを認めるものとします。

4. ソフトウェアのアップデート 本ソフトウェアは、ArcSoftのサーバと同期化して、バグ修正、パッチ、拡張機能、補足プラグイン、新規バージョンなど、本ソフトウェアで利用可能なアップデート（以下「アップデート」と総称します）がないかどうかを確認することがあります。本ソフトウェアから、本ソフトウェアの最新版に関する情報のリクエストがArcSoftのサーバに送信されます。アップデートが利用可能な場合は、お客様はダウンロードするかどうかを選択することができます。アップデートをダウンロードする前に、本ソフトウェアがお客様の許諾を求めます。本ソフトウェアをインストールし、アップデートの自動確認を無効にしない場合は、ArcSoftのサーバにリクエストを自動送信してアップデートを受信することに同意したものとみなされます。

5. 保証の否認 ArcSoftは、商品性および特定目的適合性に関する黙示保証、知的財産の非侵害に関する保証などを含め（これに限定されません）、明示、黙示を問わず、本ソフトウェアについて一切の保証を行わず、本契約に明記されていないすべての保証を明示的に否認します。お客様は、本ソフトウェアの品質および性能に関する全リスクを負担するものとします。本ソフトウェアに欠陥があることが判明した場合、必要なサービス、修理または修正の全費用を負担するのは、ArcSoftまたは指定再販業者ではなく、お客様です。但し、ArcSoftに故意または重過失がある場合を除きます。

6. 限定責任 お客様の唯一の救済手段として、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様に保証する責任範囲は、第5条に定める内容に限定されます。本ソフトウェアの使用または使用不能から生じる結果的もしくは付随的損害、出費、利益もしくは財産の逸失、またはその他の損害に関しては、たとえArcSoftまたはそのライセンサが損害の可能性を予見していた場合にも、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様や第三者に対して責任を負うことはありません。法域によっては結果的または付随的損害に対する免責や責任制限を認めないため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。

7. 輸出 お客様は、米国またはその他の国の政府から適切な許可を得ることなく、本ソフトウェアを組み込んだ製品を輸出または再輸出しないこととします。

8. 米国政府の権利の制限 お客様が米国政府の部署または機関である場合、本ソフトウェアおよび関連ドキュメンテーションはそれぞれ、適宜、DFAR Section 227.7202およびFAR Section 12.212(b)に定められた「商用コンピュータソフトウェア」「商用コンピュータソフトウェアドキュメンテーション」とみなされます。米国政府による本ソフトウェアまたは関連ドキュメンテーションの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示については、本契約の諸条件のみが適用されるものとし、本契約の条件によって明示的に許可されていない限り、禁止されるものとし、提供された技術データのうち、上記の規定が適用されないものについては、DFAR Section 227.7015(a)に定められた「技術データ商用品目」とみなされます。当該技術データの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示には、DFAR Section 227.7015(b)の条件が適用されるものとし、

Windows Mobileの製品情報について

Windows MobileおよびWindows Mobileアプリケーションについては、『マイクロソフトWindows Mobileホーム』で情報をご覧ください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile>

9. 高リスク行為 本ソフトウェアはフォールトトレラントではなく、フェールセーフ機能を必要とする危険な環境下における使用には適していません。また、本ソフトウェアの障害が、死亡、傷害または深刻な物的損害にただちにつながる恐れがある他の用途（以下「高リスク行為」と総称します）にも適していません。ArcSoftは、高リスク行為への適用性に関する明示または黙示の保証を明確に否認します。

10. プライバシーポリシー 本ソフトウェアの登録およびアクティベーションのプロセスにおいて、お客様の氏名、電話番号、住所、Eメールアドレスなどの個人情報の提供をお願いすることがあります。ArcSoftは、お求めの製品をお届けするために必要な場合を除いては、お客様の個人情報をいかなる第三者とも共有することではなく、また、いかなる第三者に売却することはありません。

11. 使用状況の追跡 ArcSoftは、製品の使いやすさを高めるために、特定の製品機能の使用状況に関する情報を記録することがあります。匿名性を維持するため、収集する使用状況の情報には、対応する個人情報は一切含まれません。

12. ライセンスの終了 お客様が本ソフトウェアを無断で複製した場合、または本ライセンス契約の条件に従わなかった場合には、お客様の本ソフトウェアに関する権利は、直ちに、または30日以内の通知をもって終了します。本ライセンスが終了した場合、お客様は、本ソフトウェアのすべてのコピーを本ソフトウェアの入手先へ返却しなければなりません。

13. 準拠法 本製品を米国内で購入された場合は、本契約はカリフォルニア州法に準拠します。それ以外の場合は、お客様が本製品を購入された各国法または各地域法に準拠します。